



# 2017年 3月期 第3四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2017年2月7日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### ■ 売上収益

- 主に産業用光ディスクドライブ事業を前期に譲渡したことにより、前年同期よりも減収

### ■ 営業利益

- 前年同期には情報機器事業における官公庁向け大型案件があったこともあり、前年同期よりも営業損失が拡大

### ■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

- 金融費用（為替差損）の発生により、親会社の所有者に帰属する四半期損失が拡大

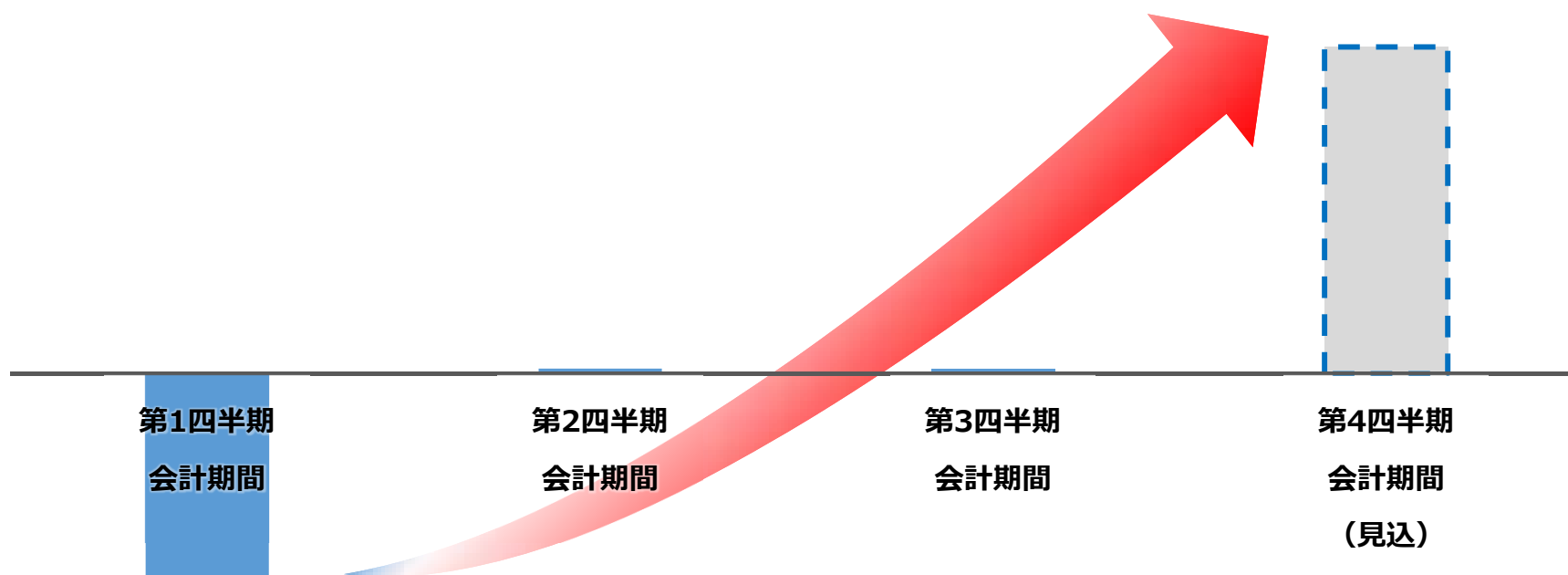
### ■ 資本合計（純資産）

- 当第3四半期連結会計期間末においてプラスに転換

# 営業利益 四半期推移見込

当期は第2四半期連結会計期間から営業利益が黒字化  
第4四半期連結会計期間での営業利益の拡大を見込む

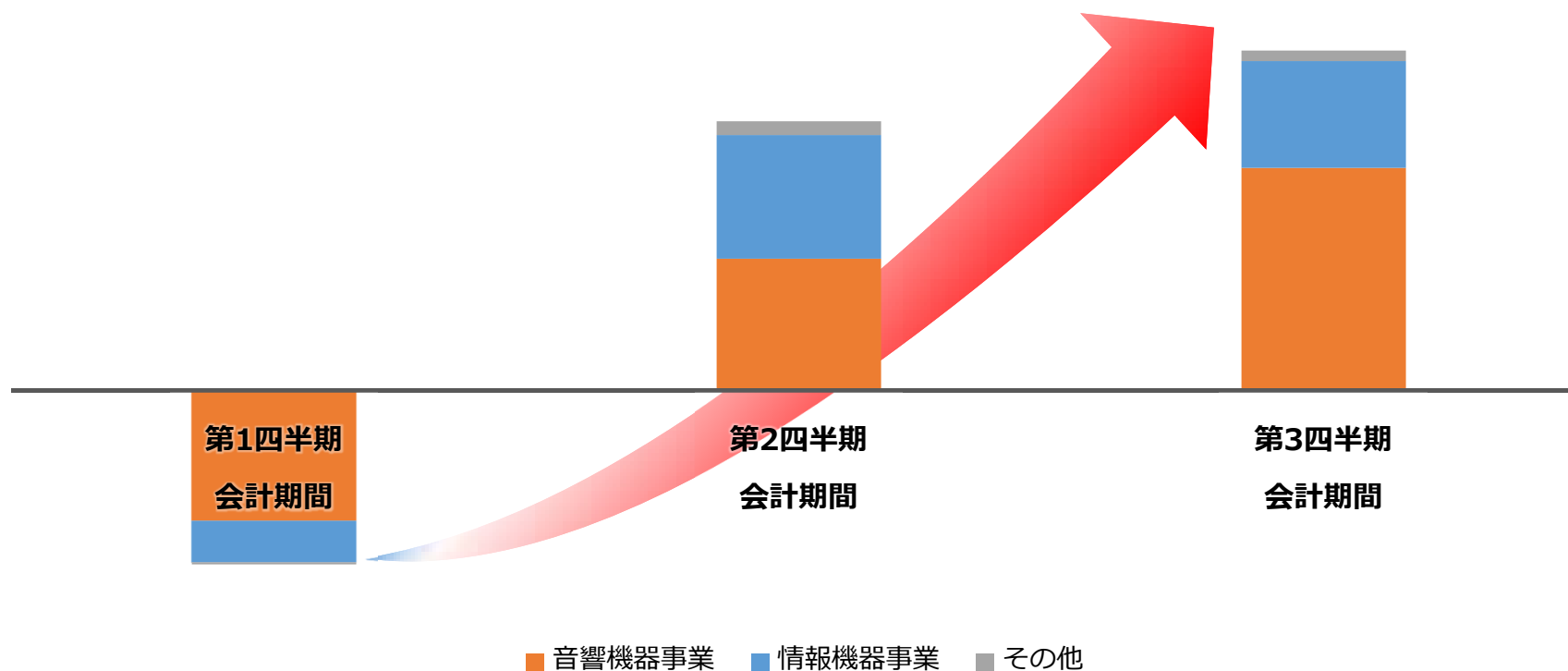
## 営業利益



# 事業別セグメント営業利益

第2四半期連結会計期間から全事業別セグメント営業利益で黒字化を達成  
当第3四半期連結会計期間でさらに利益幅が拡大

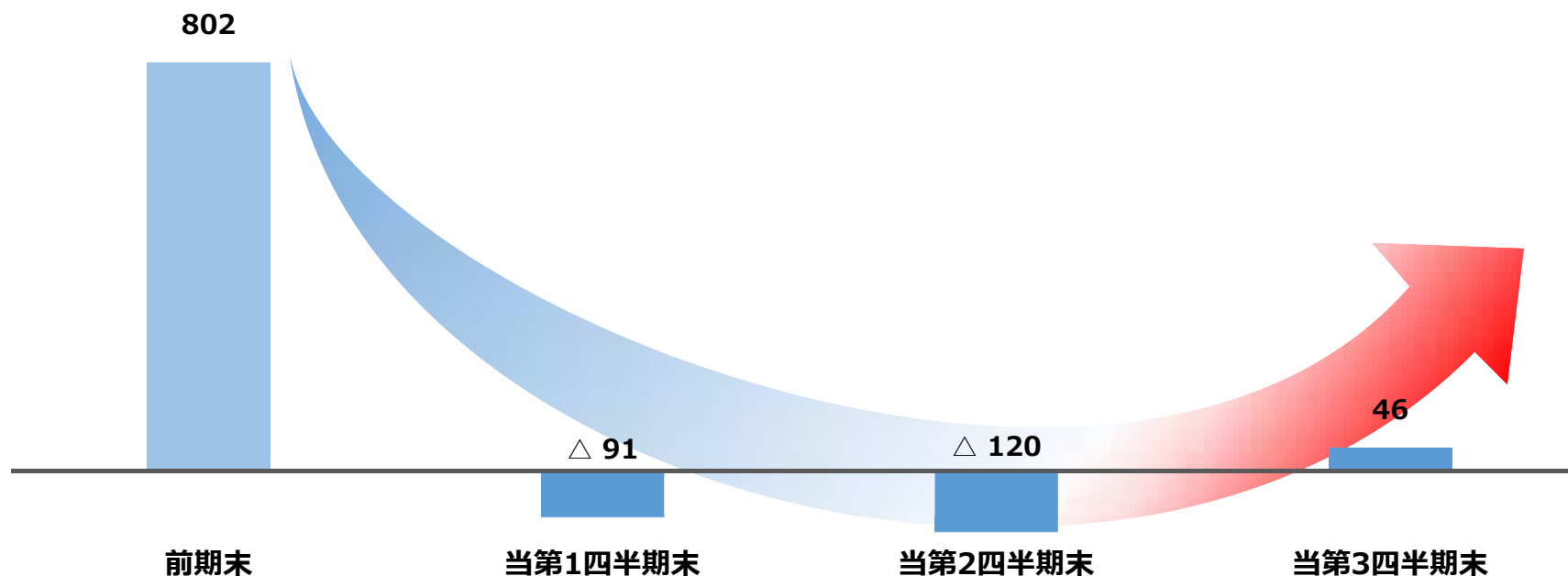
事業別セグメント営業利益



# 資本合計（純資産） 四半期推移

当期は第1、第2四半期連結会計期間末において債務超過となるも、  
当第3四半期連結会計期間末で資本合計がプラスに転換

資本合計



(単位：百万円)

# トピックス 1 (コーポレート・音響機器事業)

## ■コーポレート・一般オーディオ機器

2016年10月にGibson Brands Showroom TOKYOにて新製品発表会を開催。新たな企業理念とタグラインを4月に発表しスタートした「新生ティアック」そして「リアクティベーション (ブランド再生)」の一連の動き、本格的なモノ作りで最高品質を追求するという原点回帰の姿勢や戦略についての当社社長のスピーチに続いて、その「新生ティアック」を象徴する『NEW VINTAGE』をテーマにしたハイレゾ対応の新製品2モデルを発表。音だけでなくデザインにもこだわった、オーディオ・音楽ファンに新たなライフスタイルを提案する製品です。当日は100名近いメディアの方々にご来場いただき、その後多くのメディアで発表会の模様と新製品情報が取り上げられました。



ネットワークCDプリメインアンプ『NR-7CD』 (2017年1月21日発売開始)



オールインワンネットワーク  
ハイレゾオーディオシステム『WS-A70』  
(2017年春 発売予定)



新製品発表会の模様

## トピックス 2 (音響機器事業)

### ■ 高級オーディオ機器

2016年9月30日から10月2日まで開催された2016東京国際オーディオショウで2017年にESOTERICブランド誕生30周年を迎えることを記念した「Limited Edition Black」シリーズを展示。ブラック・アルマイト仕上げを基調に、日本の伝統工芸である漆を使った装飾（銀茜（ぎんあかね）、いぶし銀の2種類）を施し、モダンさの中に、漆特有の光沢、深み、温もりを調和させることで、テクノロジーと伝統工芸の調和が生む、“現代に生きる日本の技”を表現した限定モデルとして、スーパーオーディオCD/CDプレーヤー『K-01X BR/BH』と『K-03X BR/BH』、インテグレートッドアンプ『F-03A BR/BH』の3モデル各30台限定生産で2016年10月に受注開始し、即完売しました。



銀茜（ぎんあかね）仕上げ  
スーパーオーディオCD/CD プレーヤー『K-01X BR』（上）  
スーパーオーディオCD/CD プレーヤー『K-03X BR』（中）  
インテグレートッドアンプ『F-03A BR』（下）



いぶし銀仕上げ  
『K-01X BH』（左上）  
『K-03X BH』（左下）、『F-03A BH』（右）

## トピックス 3 (音響機器事業)

### ■ 音楽制作・業務用オーディオ機器

2016年10月にイタリアAEB INDUSTRIALE社のPA/SRスピーカーブランドのdBTechnologies製品の国内正規輸入代理店として、流通、販売及びカスタマーサポート業務を開始しました。

同じく2016年7月に国内正規輸入代理店となったドイツの高品質ケーブルメーカーKLOTZ AIS社製のKLOTZケーブルと、音楽制作市場とその発表の場であるライブ・エンタテインメント市場にかかせないdBTechnologiesのPA/SRスピーカーを取り扱うことにより、大きな市場であるPA/SRマーケットに参入し、単体の音響機器に留まることなく、トータルでレコーディングソリューションの提供を推進していきます。





## トピックス 4 (情報機器事業)

### ■ 航空機搭載記録再生機器

2016年12月に国内大手エアラインB737型機向けにSDカード対応機内ビデオシステムを納入。

ビデオシステムに続きSDカード対応機内オーディオ再生システムも受注しました。また、系列のエアラインからも機内ビデオシステムの受注を得ることができました。

2016年10月にシンガポールで開催された「APEX Expo 2016」に出展し、アジアや中東地域のエアラインなどに既存の8mmテープからSDカード対応の機内ビデオシステムへの置き換えを提案するなど、海外エアラインへの拡販にも注力しています。



SDカード対応機内ビデオシステム『VE-801SDi』

### ■ 計測機器

2016年11月にロードセル用ポータブルデジタル指示計『TD-01 Portable』を販売開始しました。

現場計測にフォーカスし、データレコーダー開発で培ったノウハウを注ぎ込み、ポータブルタイプでは業界初のカラー液晶画面を搭載して視認性を高めるなど、低価格でありながら高機能・高性能を実現しています。

ロードセルと組み合わせ引張/圧縮などの試験機の荷重チェックや製造装置に組み込まれているロードセルのチェッカーツールとして使用可能なため、予知保全の分野など新たなお客様からの引き合いも多くいただいています。



ロードセル用ポータブルデジタル指示計『TD-01 Portable』

# トピックス 5 (情報機器事業)

## ■ 医用画像記録再生機器

手術画像用レコーダーと新たに開発した手術動画管理・編集ソフトウェアとのソリューション提案で国内のみならず、海外でも術野市場の開拓に積極的に取り組んでいます。欧州市場向けには大手医療機器販社と販売契約締結し、多数の学会にも出展を開始するなど新たな顧客開拓の機会を増やすとともに、米国市場でも大手医療機器メーカーとの取引を開始、また、アジアでも新市場を開拓するなど販路を拡大しており、さらなる事業成長を目指しています。



メディカルビデオレコーダー『UR-4MD』